



五平餅片手に恵那めぐり



① 恵那峡 (大井町)

四季折々の美しい自然が楽しめる景勝地。食べて、散歩して、温泉に入って…ゆったり、のんびり楽しい時間が過ごせます。



マイカー
約30分



東鉄バス
約15分
恵那駅
明知鉄道
約30分



② 岩村城下町 (岩村町)

岩村城跡までの間をつなぐ本通りは、英傑と女城主ゆかりの城下町。繁栄した当時の面影を残す商家やナマコ壁、旧家が今もたたずんでいます。



マイカー
約18分



明知鉄道
約19分



③ 日本大正村 (明智町)

明知鉄道の終点「明智駅」の前にある日本大正村。養蚕業で栄えた活気あるハイカラな時代の「旧き良き」建物や大正文化と出会うことができます。

(一社) 恵那市観光協会

〒509-7201 岐阜県恵那市大井町286番地25
TEL0573-25-4058 FAX0573-20-0433
https://www.kankou-ena.jp/

恵那市観光交流課

〒509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1
TEL0573-26-2111 FAX0573-26-2861

※このリーフレットは、中津川・恵那広域行政事務組合が発行した「五平餅味栗毛」を、ダイジェスト版に再編集したものです。



主材料はちょっと固めに炊いたご飯。串を通してご飯のかたまりを遠火で下焼きし、タレをつけてこんがり焼き上げれば、できあがり。

シンプルだからこそ奥深い。カタチも味も様々な恵那の五平餅。一口たべたら誰でも「うんま」と口に出る。

カタチ

一口では語り尽くせないこのユニークなスタイル。

恵那市はもともと、東美濃一帯で愛される郷土の味覚「五平餅」。最近では、高速道路のサービスエリアやショッピングセンターの一角などで、みたらし団子やたこ焼きなどと肩を並べて堂々と売られています。業者によって半加工品が卸されるようになったことや、流通経路が整備されたことが影響して、五平餅は今や全国各地に広まっています。その大半が平べったい楕円の形をしているため、五平餅Ⅱわりじ型、と思ひ込んでいる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

実際には、一口に五平餅といっても、わりじ型、だんご型など様々です。大きさもいろいろ。一体どうして、同じ食べ物でこんなに沢山のカタチが生まれてきたのでしょうか。

タレ

五平餅の「味の決め手」といっても過言ではない。タレ。醤油あるいは味噌をベースに、その他の調味料や落花生などを加え、さらに、たっぷりの思い入れも摺り鉢に注ぎ込んで。どのお店や家庭にも「秘伝のタレ自慢」があります。

しばしばですが、醤油や味噌だけでなく「たまり」を使うこともあるとか。実は、この「たまり」も、この地方独特のもの。中部地方では一般的ですが、全国的にはほとんど造られていないそうです。

たまりは、もともとは赤味噌の製造過程において桶の底にたまった汁でした。醤油と比べてうまみがあり、じつくりと熟成されるため、濃厚なうま味が特徴です。

同じ醤油ベースのタレでも加える材料によって味も色も違う(右と中)。左は醤油に味噌を加えてヘボ(地蜂の子)を入れたタレ。

隠し味

ワケあり、意味あり、工夫あり。美味しいだけではないんです。

落花生、胡桃、ゴマなど一般的な材料の他に、地域や家庭・お店によって、さらに「隠し味」が加わります。酒やみりん、砂糖などの調味料。山椒の葉やカヤの実、ショウガ、ニンニク、などなど…。また、ヘボ(地蜂の子)などの美味しく貴重なタンパク源もあります。山岡、岩村エリアの味噌ダレにはきざみネギだけを加えることも。こうして、味も栄養面でも素晴らしい五平餅ができあがるのです。

各店舗、自慢の味を召し上がれ。お店ごとの隠し味にも注目!!

■店舗リスト

大井町	1	あまから	☎ 25-3029 ㊟ 大井町295-12 (㊟ 月曜日(祝日の場合は翌日休) ㊟ 9:30~18:30 【しょうゆ】
	2	(恵那物産館) 榮屋	☎ 26-4388 ㊟ 大井町2697-12 (㊟ 無休 ㊟ 9:00~17:00 (冬期10:00~15:00) 【しょうゆ】
	3	さざなみ	☎ 25-3310 ㊟ 大井町2709-112 (㊟ 火曜日 ㊟ 10:00~15:00 【しょうゆ】
	4	中央自動車道恵那峡SA(下り)五平餅	☎ 26-3151 ㊟ 大井町2194 (㊟ 水曜日 ㊟ 11:00~18:00/土、日曜日9:00~19:00 【しょうゆ】
	5	中央自動車道恵那峡SA(上り)峡谷堂	☎ 20-5760 ㊟ 大井町1120 (㊟ 無休 ㊟ 7:00~21:00 【しょうゆ】
	6	ふじあいす	☎ 25-8112 ㊟ 大井町180-1/パロー恵那店 1階 (㊟ パロー恵那店と同じ ㊟ 平日10:00~20:00 土日9:30~20:00 【しょうゆ】
長島町	7	五平餅おぎの	☎ 26-3335 ㊟ 長島町中野475-57 (㊟ 不定休 ㊟ 9:30~17:30 (LO17:00) ※5本から販売 【しょうゆ】
	8	東濃まきば館	☎ 080-1577-4307 ㊟ 長島町鍋山4-44 (㊟ 11月中旬~3月中旬 ㊟ 土、日、祝日10:00~16:00 【ミックス】
	9	米乃家恵那店	☎ 20-1258 ㊟ 長島町正家2-2/ドンキホーテ恵那店 (㊟ ドンキホーテ恵那店と同じ ㊟ 10:00~20:00 【ミックス】
三郷町	10	五平餅の太田 三郷店	☎ 28-3577 ㊟ 三郷町野井1717-2 (㊟ 月~金曜日(祝日のみ営業) ㊟ 土、日、祝10:00~18:00 (冬期17:00まで) 【しょうゆ】
	11	道の駅そばの郷らっせいみさと	☎ 28-3310 【しょうゆ】 ㊟ 三郷町佐々良木1461-1 (㊟ 月曜日(祝日の場合は翌日) ㊟ [4月~11月] 平日 9:00~17:00/土日祝 9:00~17:30 ㊟ [12月~3月] 平日 9:00~16:30/土日祝 9:00~17:00
	12	ぼん太の五平もち武並店	☎ 28-1200 ㊟ 武並町竹折向流 (㊟ 月曜日(不定休) ㊟ 10:00~18:00 (売り切れ次第終了) 【ミックス】
武並町		ハンズ武並	☎ 090-7676-7696 【ミックス】 ㊟ 武並町竹折1087-4 まちづくり町民会議ふれあい販売所 (㊟ 営業日以外 ㊟ 7月~11月の第1、第3土曜日 10:00~12:00(商品無くなり次第終了)
	13	スケート場 オープン時 はこちら	㊟ 武並町竹折970-1 クリスタルパーク恵那スケート場 (㊟ 営業日以外 ㊟ 11月~2月の毎週日曜日 9:00~12:00
中野方町	14	太田屋	☎ 23-2467 ㊟ 中野方町4486-4 (㊟ 月曜日 ㊟ 10:00~18:00 【ミックス】
	15	中野方不動産滝直売所	☎ 23-2166 ㊟ 恵那市中野方町41-1 (㊟ 12月26日~3月中旬 【ミックス】 ㊟ 8:00~16:00 (4月~12月は土、日、祝日のみ販売)
飯地町	16	まちづくり特産品部会	☎ 090-1273-5429(平井) ㊟ 飯地町185-1(五毛座) (㊟ 営業日以外 ㊟ 毎月・第1土曜日 10:00~12:00 【ミックス】
	17	若福	☎ 22-3005 ㊟ 飯地町186-1 (㊟ なし ㊟ 8:00~18:00 (予約のみ) 【味噌】
岩村町	18	あまから岩村店	☎ 43-2035 ㊟ 岩村町1575-2 (㊟ 月曜日(祝日の場合は営業) ㊟ 9:30~18:30 【しょうゆ】
	19	岩村町地域特産物直売所	☎ 43-2740 ㊟ 岩村町飯羽間3689-181 (㊟ 水曜日 ㊟ 10:00~16:00 【しょうゆ】
	20	およねさんの店	☎ 43-3421 ㊟ 岩村町2741-2 (㊟ 火・金曜日 ㊟ 9:00~16:00 【しょうゆ】
	21	かんのん屋	☎ 43-3556 ㊟ 岩村町飯羽間2259-1 (㊟ 火・水曜日 ㊟ 10:30~(売り切れ次第終了) 【しょうゆ】

※このリストは掲載の許可を得た店舗のみで構成されています。詳細については、各店舗に問合せください。

凡例

市外局番 (0573)

マップ番号 | 店名 | カタチ | 連絡先 | 住所

1 | あまから ☎ 25-3029 ㊟ 大井町295-12
(㊟ 月曜日(祝日の場合は翌日休) ㊟ 9:30~18:30 【しょうゆ】

| 定休日 | 営業時間 | タレベース |

【タレベース】 ●しょうゆ ●味噌 ●ミックス(しょうゆ+味噌)
【カタチ】 だんご型 わらじ型 その他

マイカーで行く。のんびりとバスやローカル鉄道で行く。恵那の五平餅食べ比べ。

